

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

## MAEC TECHNICAL NEWS

No. M16C-74-0107

M30240 グループの USB 通信 AUTO\_CLR 機能に関する  
マニュアル訂正のご連絡

分 類	ドキュメント正誤表 注意事項 ノウハウ その他	対 象	M30240 グループ
--------	----------------------------------	--------	-------------

M30240 グループ ユーザーズマニュアル (Rev 1.0) において、USB 機能の AUTO\_CLR 機能動作説明文に一部内容の訂正がありましたのでお知らせいたします。  
本マニュアルをご使用の際は、留意の程よろしくお願いいたします。

## 1. 対象となる機能

USB の動作のうち、以下が対象となります。

- ・エンドポイント 1 ~ 4 受信(OUT)  
( エンドポイント 0 には、AUTO\_CLR 機能はありません。 )
- ・アイソクロナス転送、バルク転送、インタラプト転送

## 2. 訂正内容

- (1) USB エンドポイント x ( x=1 ~ 4 ) OUT 制御/ステータスレジスタ AUTO\_CLR ビット部分 ( 315 ~ 316 ページ )

誤	<u>このビットが“ 1 ”のとき、USB エンドポイント x OUT 最大パケットサイズレジスタの値と等しいサイズのデータが OUT FIFO から読み出された場合に、自動的に OUT_PKT_RDY ビットが“ 0 ”にクリアされます。この場合、ショートパケット( USB エンドポイント x OUT 最大パケットサイズレジスタの値を満たさないデータパケット)を受信したときには、OUT FIFO からデータを読み出した後、ソフトウェアで OUT_PKT_RDY ビットを“ 0 ”にクリアする必要があります。</u>
正	<u>このビットが“ 1 ”のとき、受信した OUT パケットサイズと等しいサイズのデータが OUT FIFO から読み出された場合に、自動的に OUT_PKT_RDY ビットが“ 0 ”にクリアされます。</u>

(2) バルク転送：エンドポイント 1~4 受信 パケットデータ取り出し 部分 (319 ページ)

<b>誤</b>	<p>4: OUT_PKT_RDY ビットを“0”にクリアして、受信 1 パケット取り出しを完了する。OUT_PKT_RDY ビットを“0”にクリアする手順は、AUTO_CLR ビットの設定で異なります。</p> <p>AUTO_CLR ビットが“1”の場合、<u>OUT FIFO への書き込みデータ数によって自動的にクリアされます。</u></p>
<b>正</b>	<p>4: OUT_PKT_RDY ビットを“0”にクリアして、受信 1 パケット取り出しを完了する。OUT_PKT_RDY ビットを“0”にクリアする手順は、AUTO_CLR ビットの設定で異なります。</p> <p>AUTO_CLR ビットが“1”の場合、<u>OUT FIFO から 1 パケット分のデータ数を読み出すと自動的にクリアされます。</u></p>

(3) 図 2.7.41. エンドポイント 1~4 OUT パケット取り出し手順例 部分 (322 ページ)

<b>誤</b>	<p>注 2: <u>AUTO_SET ビットが“1”の場合、最大パケットサイズレジスタで設定したデータ数を OUT FIFO へ書き込むと、自動的に“0”になります。</u></p> <p><u>AUTO_SET ビットが“0”の場合、または AUTO_SET ビットが“1”でショートパケット(最大パケットサイズに満たないデータパケット)の場合、ソフトウェアで“0”にします。</u></p>
<b>正</b>	<p>注 2: <u>AUTO_CLR ビットが“1”の場合、OUT FIFO から 1 パケット分のデータ数を読み出すと自動的に“0”になります。</u></p>

(4) 図 3.7.3. USB OUT FIFO から RAM への DMA 転送設定手順例(2) 部分 (440 ページ)

<b>誤</b>	<p>注 3: (エンドポイント 1OUT 書き込みカウントレジスタ - 1) を設定します。</p> <p><u>AUTO_CLR ビットの許可は、受信パケットサイズがエンドポイント 1OUT 最大パケットサイズと一致しないと使用できません。ショートパケット受信の可能性のある場合には、使用しないでください。」</u></p>
<b>正</b>	<p>注 3: (エンドポイント 1OUT 書き込みカウントレジスタ - 1) を設定します。</p>

以上